

## 077 ヤイロの娘とイエスの服に触れる女(2)

マルコによる福音書 5 : 35~43、マタイ 9 : 18~26、ルカ 8 : 40~56

人生における様々な妨害、中断、そして挫折の時には、神様の計画と大きな祝福がある。

35 イエスがまだ話しておられるときに、会堂長 (ヤイロ) の家から人々が来て言った。  
「お嬢さんは亡くなりました。もう、先生を煩わすには及ばないでしょう。」

36 イエスはその話をそばで聞いて、「**恐れることはない。ただ信じなさい**」と会堂長に言われた。  
→口語訳：イエスはその話している言葉を聞き流して、会堂司に言われた、  
→N I V : Overhearing (偶然に、意識せずに聞きながら) what they said, Jesus told him,

37 そして、ペトロ、(ゼベダイの子) ヤコブ、またヤコブの兄弟ヨハネのほかは、だれもついて来ることをお許しにならなかった。

38 一行は会堂長の家に着いた。イエスは(泣き女たちや)人々が(取り乱して)大声で泣きわめいて騒いでいるのを見て、39 家の中に入り、人々に言われた。  
「**なぜ、(取り乱して)泣き騒ぐのか。子供は死んだのではない。眠っているのだ。**」

40 (すると)人々はイエスをあざ笑った。しかし、イエスは皆を外に出し、子供の両親と三人の弟子だけを連れて、子供のいる所へ入って行かれた。

41 そして、子供の手を取って、「**タリタ、クム Talitha koum!**」と(アラム語で)言われた。これは、「**少女よ、わたしはあなたに言う。起きなさい**」という意味である。

42 少女はすぐに(蘇生し)起き上がって、歩きだした。もう十二歳になっていたからである。それを見るや、人々は驚きのあまり我を忘れた。

43 イエスはこのことを①だれにも知らせないようにと厳しく命じ、また、②食べ物を少女に与えるように(→:少女が幽霊でなく、蘇生し生きていることを証しするため)と言われた。

【参考】だれにも話さないように→「だれにも知らせないように」はマルコ 5 : 43 のみの表現である

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 5 / 聖句等の総数 33250 <だれにも話さないように>5個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : だれにも話さないように]
S マタイによる福音書	8:4 イエスはその人に言われた。「だれにも話さないように気をつけなさい。ただ、行って祭司に体を見せ、モーセが定めた供え物を献げて、人々に証明しなさい。」	
S マタイによる福音書	16:20 それから、イエスは、御自分がメシアであることをだれにも話さないように、と弟子たちに命じられた。	
S マルコによる福音書	8:30 するとイエスは、御自分のことをだれにも話さないようにと弟子たちを戒められた。	
S ルカによる福音書	8:56 娘の両親は非常に驚いた。イエスは、この出来事をだれにも話さないようにとお命じになった。	
S ルカによる福音書	9:21 イエスは弟子たちを戒め、このことをだれにも話さないように命じて、	

**【参考】** イエスが特別に訓練した三人の愛弟子たち(ペトロ、ゼベダイの子ヤコブ、ヤコブの弟ヨハネ)

タイトル(書名)	章:節 聖句	〔検索対象総数 : 7 / 聖句等の総数 33250 <ペトロ>7個<ヨハネ>7個〕 (新共同訳) 〔検索語彙 : ペトロ・ヨハネ〕
S マタイによる福音書	17:1	六日の後、イエスは、ペトロ、それにヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。 ヘルモン山
S マルコによる福音書	5:37	そして、ペトロ、ヤコブ、またヤコブの兄弟ヨハネのほかは、だれもついて来ることをお許しにならなかった。
S マルコによる福音書	9:2	六日の後、イエスは、ただペトロ、ヤコブ、ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。イエスの姿が彼らの目の前で変わり、
S マルコによる福音書	14:33	そして、ペトロ、ヤコブ、ヨハネを伴われたが、イエスはひどく恐れてもたえ始め、
S ルカによる福音書	8:51	イエスはその家に着くと、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、それに娘の父母のほかには、だれも一緒に入ることをお許しにならなかった。
S ルカによる福音書	9:28	この話をしてから八日ほどたったとき、イエスは、ペトロ、ヨハネ、およびヤコブを連れて、祈るために山に登られた。
S ルカによる福音書	22:8	イエスはペトロとヨハネとを使いに出そうとして、「行って過越の食事ができるように準備しなさい」と言われた。

※ルカ 22 : 8 だけは、「ペトロ」と「ヨハネ」に指示しているが「ヤコブ」にはない。

**【一言】** ヘブライ語の父、エリエゼル・ベン・イエフダー (1858~1922 年)

母国ロシア帝国からパレスチナに移り住み、ほぼ独力でヘブライ語を話し言葉として現代に復活させた。彼は幼い頃にヘブライ語に翻訳されたロビンソン・クルーソーを読んで衝撃を受けたといわれ、息子ベン・ツィオンは生まれて数年間はヘブライ語のみで教育され、約 2000 年ぶりにヘブライ語を母語として話す最初の人物となった。

ベン・イエフダーが編纂を始めた全 17 巻からなるヘブライ語大辞典は、彼の死後、1958 年に完成した。

